

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券	
信 託 期 間	無期限（設定日：2023年6月8日）	
運 用 方 針	マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、米国の短期国債市場の動きと概ね同等の投資成果をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド（ベビーファンド）	SBI・iシェアーズ・米国短期国債・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
組 入 制 限	当ファンド（ベビーファンド）	投資信託証券（マザーファンド受益証券および上場投資信託証券を除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 マザーファンド受益証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
	マザーファンド	投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
分 配 方 針	年1回（毎年6月10日。ただし、休業日の場合は翌営業日）決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額とします。）等の全額とします。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、委託者の判断により分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を定めず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

運用報告書（全体版）

第3期

（決算日：2026年6月10日）

SBI・iシェアーズ・米国短期国債ファンド（愛称：サクっと米ドル）

追加型投信／海外／債券

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「SBI・iシェアーズ・米国短期国債ファンド（愛称：サクっと米ドル）」は、2026年6月10日に第3期決算を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1－6－1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00



ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。
<https://www.sbiam.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決 算 期	(分配落)	基 準 価 額		投資信託証券 組 入 比 率	純資産 総 額
		税 込 分配金	期 中 騰落率		
(設 定 日) 2023年 6 月 8 日	円 10,000	円 —	% —	% —	百万円 23
1 期(2024年 6 月10日)	11,811	0	18.1	97.1	986
2 期(2025年 6 月10日)	11,393	0	△ 3.5	96.0	826
3 期(2026年 6 月10日)	13,067	0	14.7	99.1	1,714

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
(注2) 設定日の純資産は、設定元本を表示しています。
(注3) 基準価額の騰落率は分配金込みです。
(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
(注5) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、米国の短期国債市場の動きと概ね同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	投資信託証券 組 入 比 率
(期 首) 2025年 6 月10日	円 11,393	% —	% 96.0
6 月末	11,427	0.3	98.4
7 月末	11,819	3.7	98.1
8 月末	11,657	2.3	98.0
9 月末	11,849	4.0	98.0
10月末	12,292	7.9	98.6
11月末	12,521	9.9	97.9
12月末	12,549	10.1	98.3
2026年 1 月末	12,355	8.4	98.4
2 月末	12,555	10.2	102.1
3 月末	12,947	13.6	99.7
4 月末	13,021	14.3	97.5
5 月末	12,971	13.9	97.2
(期 末) 2026年 6 月10日	13,067	14.7	99.1

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
(注3) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、米国の短期国債市場の動きと概ね同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2025年6月11日から2026年6月10日まで）

○基準価額等の推移



期 首：11,393円

期 末：13,067円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率： 14.7%

（注1）当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、米国の短期国債市場の動きと概ね同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

（注2）当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・ 2025年後半の3回の利下げによる短期金利の低下
- ・ 日米金利差による為替市場の円安ドル高

下落要因

- ・ 2025年は米国での利下げと日銀の利上げにより日米金利差縮小による円高
- ・ 2026年2月末から始まった米国によるイラン攻撃の影響によりエネルギー価格上昇によるインフレ懸念から、利下げトレンドが利上げトレンドに転換し短期金利も上昇

○投資環境

＜米国債券市場＞

米国短期国債市場は、米連邦準備制度理事会（FRB）の金融政策転換を織り込みながら短期金利は徐々に低下する展開となりました。2025年6月時点ではFRBは政策金利を4.25～4.50%で据え置いており、インフレ鈍化の進展を見極める姿勢を維持しておりました。短期金利も4%台前半から半ばで推移し、高金利の長期化がメインシナリオで市場は取引されておりました。その後、2025年後半にはインフレ圧力が徐々に和らぎ景気の減速感もみられたことから、市場では利下げへの期待感が高まり、FRBは実際2025年9月、10月そして12月と3回利下げを実施し、政策金利を3.50～3.75%まで引き下げました。これを受け米国短期金利も低下基調を強めました。2026年に入ると、米国によるイラン攻撃によりエネルギー価格上昇によるインフレ懸念もあり、年初から6月まで4会合連続で政策金利を据え置きました。景気は底堅さを維持した一方、インフレ率は依然として2%目標を上回っており、追加利下げに慎重な姿勢に転換しました。市場では、利下げサイクルがいったん終了し、しばらくの間様子見が続くのではとの見方がひろがり、短期金利の低下も鈍化しました。2026年6月時点では、FF金利実効値は約3.6%となり、短期国債の利回りは1年前の4.0%台前半から現状では3%台後半で推移しており、この1年では結果として利回りは低下したものの、低下幅は限定的でした。

＜外国為替市場＞

当期、米ドル円相場は期を通じて、円安ドル高基調が継続した1年となりました。最大の要因は米国と日本の金融政策格差でした。FRBは2025年後半に利下げに転じた一方、日本銀行は利上げを進めましたが、日米金利差は引き続き大きく、ドル優位の構図が続きました。2025年夏ごろまでは米国の利下げ観測と日銀の追加利上げ期待から円買いが優勢となる局面も見られましたが、米国での雇用や消費が堅調に推移していたことから米国の金利は高水準を維持していました。日本では金融政策正常化の速度がゆっくりであったことから円キャリー取引の需要が引き続き残っており、円高は非常に限定的でした。そうした中、米国では2025年後半に3回の利下げが実施されましたが、市場では利下げ終了が近づいているとの見方が強まり、日銀の緩慢な利上げペースもあり円は再び弱含み、160円近辺まで円安となる場面も見られました。2026年に入ると、市場では当初FRBの追加利下げと日銀による追加利上げにより円高が進行すると予想する動きも見られましたが、2月の終わりに始まった米国によるイラン攻撃によるエネルギー価格の上昇をきっかけに、FRBは4会合連続で政策金利を据え置きました。さらには利下げどころかインフレ懸念による利上げへの転換観測が浮上し、ドル買い圧力が強まりました。その結果6月上旬には再び160円近辺まで円安がすすみ、日銀による為替介入への警戒感が高まりました。

○当ファンドのポートフォリオ

<当ファンド>

主要投資対象である「SBI・iシェアーズ・米国短期国債・マザーファンド受益証券」を高位に組入れて運用を行いました。

<SBI・iシェアーズ・米国短期国債・マザーファンド>

ブラックロック・ファンド・アドバイザーズが運用を行う「iシェアーズ・0-3ヵ月・米国国債 ETF」を主要投資対象とし、米国の短期国債市場の値動きと概ね同等の投資成果をめざして運用を行いました。

なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は99.1%となっております。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、米国の短期国債市場の動きと概ね同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

○分配金

当期の収益分配は、運用の効率性と基準価額の水準を勘案し見送ることといたしました。
なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第 3 期
	2025年 6 月11日～ 2026年 6 月10日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	— %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,067

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

<当ファンド>

引き続き、主要投資対象である『SBI・iシェアーズ・米国短期国債・マザーファンド』を高位に組入れます。

<SBI・iシェアーズ・米国短期国債・マザーファンド>

主としてETF(上場投資信託証券)への投資を通じて、残存期間が3ヵ月未満の米国の短期国債市場の動きを示すICE 0-3ヵ月・米国国債インデックス(ICE 0-3 Month US Treasury Securities Index)のパフォーマンスへの連動をめざします。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年 6 月11日～2026年 6 月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	8 (3) (3) (2)	0.064 (0.024) (0.024) (0.015)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	—	—	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に 支払う手数料
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に 関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (印 刷)	14 (4) (4) (5)	0.111 (0.036) (0.032) (0.043)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	22	0.175	
期中の平均基準価額は、12,330円です。			

(注 1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注 2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注 3) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。

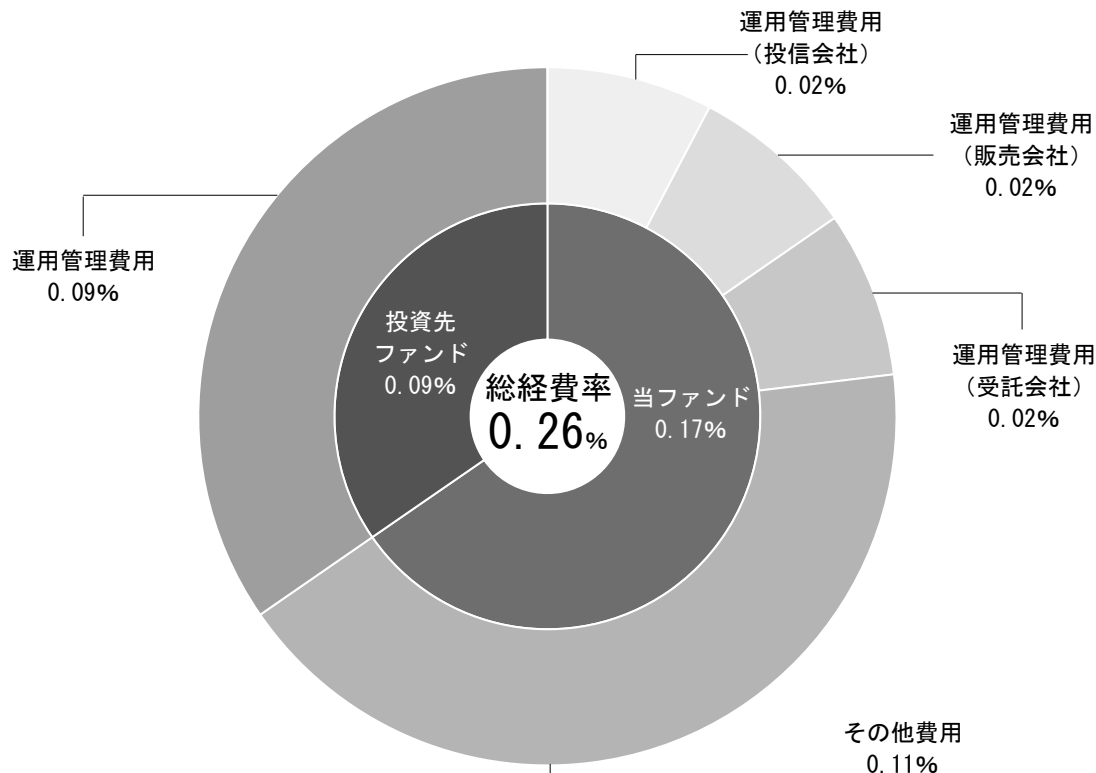
(注 4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注 5) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入しています。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.26%**です。



総経費率 (①+②)	0.26%
①当ファンドの費用の比率	0.17%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.09%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年6月11日～2026年6月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
SBI・iシェアーズ・米国短期国債・マザーファンド	1,534,311	1,939,520	951,164	1,192,300

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2025年6月11日～2026年6月10日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年6月10日現在)

親投資信託残高

銘 柄 名	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
SBI・iシェアーズ・米国短期国債・マザーファンド	723,499	1,306,646	1,715,103

(注) 単位未満は切捨て。

マザーファンドにおける組入資産の明細につきましては、後述のマザーファンドの「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2026年 6月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
S B I ・ i シェアーズ・米国短期国債・マザーファンド	1, 715, 103	99. 5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	9, 076	0. 5
投 資 信 託 財 産 総 額	1, 724, 179	100. 0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) S B I ・ i シェアーズ・米国短期国債・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産 (1, 689, 520千円) の投資信託財産総額 (1, 741, 764千円) に対する比率は97. 0%です。
(注3) 外貨建て資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。なお、6月10日における円換算レートは、1ドル=160. 45円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年 6月10日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	1, 724, 179, 191円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	25, 439
S B I ・ i シェアーズ・米国短期国債・マザーファンド (評 価 額)	1, 715, 103, 752
未 収 入 金	9, 050, 000
(B)負 債	9, 845, 567
未 払 解 約 金	9, 041, 539
未 払 信 託 報 酬	416, 481
そ の 他 未 払 費 用	387, 547
(C)純 資 産 総 額 (A - B)	1, 714, 333, 624
元 本	1, 311, 910, 481
次 期 繰 越 損 益 金	402, 423, 143
(D)受 益 権 総 口 数	1, 311, 910, 481口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	13. 067円

< 注記事項 (運用報告書作成時には監査未了) >
(貸借対照表関係)

期首元本額	725, 225, 180円
期中追加設定元本額	1, 540, 729, 101円
期中一部解約元本額	954, 043, 800円

○損益の状況 (2025年 6月11日～2026年 6月10日)

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	4円
受 取 利 息	4
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	86, 333, 581
売 買 益 損	129, 228, 821
売 買 損	△ 42, 895, 240
(C)信 託 報 酬 等	△ 1, 517, 390
(D)当 期 損 益 金 (A + B + C)	84, 816, 195
(E)前 期 繰 越 損 益 金	△ 1, 310, 631
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	318, 917, 579
(配 当 等 相 当 額)	(161, 313, 044)
(売 買 損 益 相 当 額)	(157, 604, 535)
(G)計 (D + E + F)	402, 423, 143
(H)収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	402, 423, 143
追 加 信 託 差 損 益 金	318, 917, 579
(配 当 等 相 当 額)	(167, 151, 857)
(売 買 損 益 相 当 額)	(151, 765, 722)
分 配 準 備 積 立 金	83, 505, 564

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益 (40, 336, 997円)、費用控除後の有価証券等損益額 (21, 727, 186円)、信託約款に規定する収益調整金 (318, 917, 579円) および分配準備積立金 (21, 441, 381円) より分配対象収益は402, 423, 143円 (10, 000口当たり3, 067円) ですが、当期に分配した金額はありません。

第3期 運用報告書

(決算日：2026年6月10日)

SBI・iシェアーズ・米国短期国債・マザーファンド

受益者のみなさまへ

SBI・iシェアーズ・米国短期国債・マザーファンドの第3期（2025年6月11日から2026年6月10日まで）の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは、次の通りです。

運用方針	信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	ETF（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 デリバティブの利用は価格変動リスクおよび為替変動リスクを回避する目的ならびに投資対象資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的以外には利用しません。 外国為替予約取引は、為替変動リスクを回避する目的以外には利用しません。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		投資信託証券 組 入 比 率	純資産 総 額
		期 中 騰落率		
(設 定 日)	円	%	%	百万円
2023年6月8日	10,000	—	—	23
1 期(2024年6月10日)	11,828	18.3	97.0	987
2 期(2025年6月10日)	11,428	△ 3.4	95.9	826
3 期(2026年6月10日)	13,126	14.9	99.1	1,715

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
(注2) 設定日の純資産は、設定元本を表示しています。
(注3) 当ファンドは、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、米国の短期国債市場の動きと概ね同等の投資成果を目指して運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

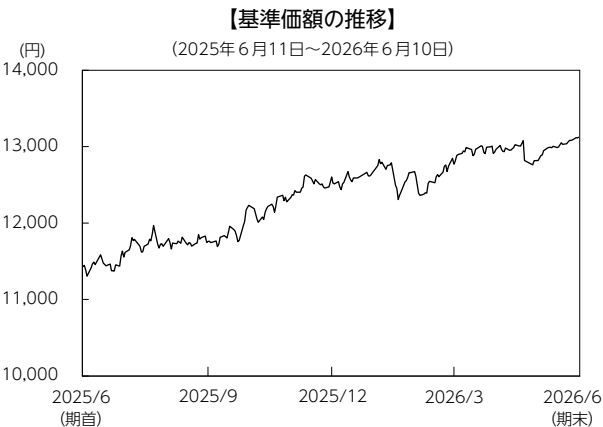
○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		投資信託証券 組 入 比 率
		騰 落 率	
(期 首)	円	%	%
2025年6月10日	11,428	—	95.9
6 月末	11,463	0.3	98.3
7 月末	11,858	3.8	98.1
8 月末	11,698	2.4	97.9
9 月末	11,892	4.1	98.0
10月末	12,338	8.0	98.5
11月末	12,569	10.0	97.8
12月末	12,599	10.2	98.3
2026年1月末	12,405	8.5	98.3
2 月末	12,607	10.3	102.1
3 月末	13,002	13.8	99.7
4 月末	13,078	14.4	97.5
5 月末	13,029	14.0	97.2
(期 末)			
2026年6月10日	13,126	14.9	99.1

(注1) 騰落率は期首比です。
(注2) 当ファンドは、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、米国の短期国債市場の動きと概ね同等の投資成果を目指して運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2025年6月11日から2026年6月10日まで）

○基準価額等の推移



当マザーファンドの基準価額は期首11,428円から始まったあと、期末には13,126円となりました。期を通じて騰落率は+14.9%となりました。

	期首	期中高値	期中安値	期末
日付	2025/6/10	2026/6/10	2025/6/13	2026/6/10
基準価額 (円)	11,428	13,126	11,306	13,126

○投資環境

<米国債券市場>

米国短期国債市場は、米連邦準備制度理事会（FRB）の金融政策転換を織り込みながら短期金利は徐々に低下する展開となりました。2025年6月時点ではFRBは政策金利を4.25～4.50%で据え置いており、インフレ鈍化の進展を見極める姿勢を維持しておりました。短期金利も4%台前半から半ばで推移し、高金利の長期化がメインシナリオで市場は取引されておりました。その後、2025年後半にはインフレ圧力が徐々に和らぎ景気の減速感もみられたことから、市場では利下げへの期待感が高まり、FRBは実際2025年9月、10月そして12月と3回利下げを実施し、政策金利を3.50～3.75%まで引き下げました。これを受け米国短期金利も低下基調を強めました。2026年に入ると、米国によるイラン攻撃によりエネルギー価格上昇によるインフレ懸念もあり、年初から6月まで4会合連続で政策金利を据え置きました。景気は底堅さを維持した一方、インフレ率は依然として2%目標を上回っており、追加利下げに慎重な姿勢に転換しました。市場では、利下げサイクルがいったん終了し、しばらくの間様子見が続くのではとの見方がひろがり、短期金利の低下も鈍化しました。2026年6月時点では、FF金利実効値は約3.6%となり、短期国債の利回りは1年前の4.0%台前半から現状では3%台後半で推移しており、この1年では結果として利回りは低下したものの、低下幅は限定的でした。

＜外国為替市場＞

当期、米ドル円相場は期を通じて、円安ドル高基調が継続した1年となりました。最大の要因は米国と日本の金融政策格差でした。FRBは2025年後半に利下げに転じた一方、日本銀行は利上げを進めましたが、日米金利差は引き続き大きく、ドル優位の構図が続きました。2025年夏ごろまでは米国の利下げ観測と日銀の追加利上げ期待から円買いが優勢となる局面も見られましたが、米国での雇用や消費が堅調に推移していたことから米国の金利は高水準を維持していました。日本では金融政策正常化の速度がゆっくりであったことから円キャリー取引の需要が引き続き残っており、円高は非常に限定的でした。そうした中、米国では2025年後半に3回の利下げが実施されましたが、市場では利下げ終了が近づいているとの見方が強まり、日銀の緩慢な利上げペースもあり円は再び弱含み、160円近辺まで円安となる場面も見られました。2026年に入ると、市場では当初FRBの追加利下げと日銀による追加利上げにより円高が進行すると予想する動きも見られましたが、2月の終わりに始まった米国によるイラン攻撃によるエネルギー価格の上昇をきっかけに、FRBは4会合連続で政策金利を据え置きました。さらには利下げどころかインフレ懸念による利上げへの転換観測が浮上し、ドル買い圧力が強まりました。その結果6月上旬には再び160円近辺まで円安がすすみ、日銀による為替介入への警戒感が高まりました。

○当ファンドのポートフォリオ

ブラックロック・ファンド・アドバイザーズが運用を行う「iシェアーズ・0-3ヵ月・米国国債 ETF」を主要投資対象とし、米国の短期国債市場の値動きと概ね同等の投資成果をめざして運用を行いました。

なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は99.1%となっております。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、米国の短期国債市場の動きと概ね同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

○今後の運用方針

主としてETF（上場投資信託証券）への投資を通じて、残存期間が3ヵ月未満の米国の短期国債市場の動きを示すICE 0-3ヵ月・米国国債インデックス（ICE 0-3 Month US Treasury Securities Index）のパフォーマンスへの連動をめざします。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年 6 月11日～2026年 6 月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売買委託手数料	円 —	% —	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税	—	—	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	4 (4)	0.036 (0.036)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	4	0.036	
期中の平均基準価額は、12,378円です。			

(注 1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注 2) 項目ごとに円未満は四捨五入しております。
(注 3) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2025年 6 月11日～2026年 6 月10日)

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	アメリカ ISHARES 0-3 MONTH TREASURY BOND ETF	口 82,298	千ドル 8,273	口 31,449	千ドル 3,161

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2025年6月11日～2026年6月10日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年6月10日現在)

外国投資信託証券						
銘柄名		期首(前期末)	当 期 末			
		口 数	口 数	評 価 額		比 率
				外貨建金額	円換算金額	
(アメリカ)		口	口	千ドル	千円	%
ISHARES 0-3 MONTH TREASURY BOND ETF		54,578	105,427	10,592	1,699,526	99.1
合 計	口 数 ・ 金 額	54,578	105,427	10,592	1,699,526	99.1
	銘柄数<比率>	1	1	—	<99.1%>	

(注1) 円換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。
(注2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。
(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2026年6月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	1,699,526	97.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	42,238	2.4
投 資 信 託 財 産 総 額	1,741,764	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 当期末における外貨建て純資産（1,689,520千円）の投資信託財産総額（1,741,764千円）に対する比率は97.0%です。
(注3) 外貨建て資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。なお、6月10日における円換算レートは、1ドル＝160.45円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年6月10日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,759,412,830円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	34,867,228
投資信託受益証券（評価額）	1,699,526,623
未 収 入 金	17,648,070
未 収 配 当 金	7,370,341
未 収 利 息	568
(B) 負 債	44,368,460
未 払 金	35,318,460
未 払 解 約 金	9,050,000
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	1,715,044,370
元 本	1,306,646,162
次 期 繰 越 損 益 金	408,398,208
(D) 受 益 権 総 口 数	1,306,646,162口
1 万口当たり基準価額 (C / D)	13.126円

< 注記事項（運用報告書作成時には監査未了） >
 （貸借対照表関係）

期首元本額	723,499,158円
期中追加設定元本額	1,534,311,157円
期中一部解約元本額	951,164,153円
期末における元本の内訳	
S B I ・ i シェアーズ・米国短期国債ファンド	1,306,646,162円

○損益の状況 (2025年6月11日～2026年6月10日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	42,008,086円
受 取 配 当 金	41,762,957
受 取 利 息	245,129
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	99,362,835
売 買 益	100,031,954
売 買 損	△ 669,119
(C) そ の 他 費 用	△ 388,645
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	140,982,276
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	103,342,936
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	405,208,843
(G) 解 約 差 損 益 金	△241,135,847
(H) 計 (D + E + F + G)	408,398,208
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	408,398,208

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

＜ご参考＞組入投資信託証券の概要

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
iシェアーズ・0-3ヵ月・米国国債 ETF	米国の短期国債	ICE 0-3ヵ月・米国国債インデックス	0.09%	ブラックロック・ファンド・アドバイザーズ

組入上位10銘柄	比率
TREASURY BILL	10.6%
TREASURY BILL	9.2%
TREASURY BILL	8.6%
TREASURY BILL	7.0%
TREASURY BILL	6.8%
TREASURY BILL	6.7%
TREASURY BILL	6.4%
TREASURY BILL	5.5%
TREASURY BILL	5.0%
TREASURY BILL	4.6%

出所：ブラックロック・ファンド・アドバイザーズの資料を基にSBIアセットマネジメントが作成
(注) 2026年3月31日時点の比率です。

上記組入投資信託証券は第3期期末時点で取得可能なデータを記載しており、将来変更される場合があります。